

---

# 連載になるかもしれない、ネタ。

海野 真珠

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

連載になるかもしれない、ネタ。

### 【Nコード】

N8638T

### 【作者名】

海野 真珠

### 【あらすじ】

#twnovel（ツイッター上の小説）より加筆修正。

タイトル通り。いつか連載になるかもしれない、ネタ。

(前書き)

#twnove1のネタに、加筆修正。  
何となく、連載にできそうじゃない？  
と。

ばたばたと聞こえる軽い足音。

その後が続く、それよりも少し重い足音。

カシャカシャと金属の擦れ合う音とともに、だんだんと近づいてくるそれに、口元に笑みをはく。

「母上、失礼いたします!!」

返事をする前に開け放たれた扉に、傍に控えていた侍女が目を剥く。

しかし、これはいつものこと。

すぐに平常を取り戻し、その顔はいつもの無表情を取り戻した。

「まあ、王太子。そんなに慌ててどうしました？」

ゆつたりと腰掛けていたカウチから腰を上げ、突然入ってきた我が子を迎える。

普段の大人びた表情とは違う、どこかむくれたその顔に、突然の訪問の理由を悟った。

「父上が、また、新しい側室を迎えられると・・・」

そこにありありと不快を表す我が子に、予想通りの理由に、笑ってしまふ。

「ええ、存じておりますよ。大層お美しい姫君であらせられるとか。今宵は新しい側室様を迎える宴が開かれましょう」

「母上は平気なのですか?! お辛くないのですか?!」

はんなりと笑ったわたくしに、我が子は激情のまま声を荒げる。  
どこか潔癖のきらいがあるわが子は、父親の好色が理解できないらしい。

「いくら陛下が側室を迎えられようと、陛下のお子は、わたくしの生んだ可愛い子だけ。この後も、それだけは変わらぬですよ」「  
「・・・。それが、父上の、母上に対する愛、だとも?」

ぎゅゅと固く握る両手を包み、ゆつくりとさする。  
泣きそうに歪むその顔に、笑いかけた。

「この国の王太子は、わたくしの可愛い貴方。陛下のお子は、わたくしの可愛い貴方達だけ」

ゆつくりと言えば、いくらか落ち着いたわが子の体から、強張っていた余計な力が抜けた。

「母上が、母上こそがこの国の国母、王妃陛下であられるのに!!  
母上には、4人もお子がいるのに!!」

なのにどうして、新しい側室など迎えるのか、と言う我が子。

「陛下には、陛下のお考えがあるのでしよう。数多の側室を迎えるのも、一国の王の務めですからね」  
「それで、子ができでもしたら・・・」

異母兄弟ほど、邪魔な存在はない。

生母の身分が高ければ、余計な問題を抱えることになる。

今回迎える側室は、小国とはいえ、一国の王女。  
王子でも生めば、後宮は荒れるだろう。

しかし・・・

「大丈夫ですよ。此度の側室の姫君にも、子は宿りません」

抱き寄せた我が子には見えないように、扉の前に立つ騎士を見て  
笑った。

できるはずがない。

陛下には、種が無いのだから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8638t/>

---

連載になるかもしれない、ネタ。

2011年6月7日12時56分発行